

2014/07/14

## 静岡市静岡医師会視察企画書

### 視察日程内容

1 目的：静岡市静岡医師会が行なっている病診連携「イーツーネット」は疾患毎に診療所と病院の医師 2 名が主治医となり患者を支えるシステムが構築されている。また、患者の安心をかなえる 3 種類のカードシステムを使い、それぞれの在宅支援を手助けしている。静岡市静岡医師会が行なっているこれらの在宅支援システムのあり方や看取り・搬送方法など在宅医療の現状について視察し、今後のつくば市医師会の取り組みの参考にしたい。

2 日時：平成 26 年 9 月 17 日（水）13：30～

3 場所：一般社団法人静岡市静岡医師会  
静岡市葵区東草深町 3 番 27 号  
TEL054-245-6136

4 視察内容：土台づくり事業 人づくりグループ

・病診連携イーツーネット

<http://www.e2net.shizuoka.jp/renkei>

疾患毎に診療所と病院の 2 人の医師が患者さんの主治医となり、患者の在宅療養を支えている。診療所の医師が病気を抱える患者さんのホームドクターとなり、身近について何でも相談できる親密さを持ち幅広い疾患に対応し、検診・通院・在宅（往診）まで継続的な治療を担当する。もう一人の主治医である病院の医師は病院が持つ高度な医療機器などを利用した手術や入院など、専門的治療が必要となった時や診療所の医師が対応出来ない夜間・緊急時の対応を受け持つことで、それぞれの患者さんに必要なタイミングで最適な医療を提供することができる。こうした役割の分担は患者さんのみならず各医療機関に対する負担軽減が可能となる。

仕組みづくり事業 急変時対応グループ

・患者さんの安心を実現する 3 枚カード

<http://www.e2net.shizuoka.jp/sbout/card>

・在宅医療支援・看護・看取りシステム「グリーンカードシステム」

グリーンカードシステムは自宅で最後を希望する在宅患者さんが、かかりつけ医に連絡がつかない場合、医師会在宅当番医が往診し、看取りに対応をするシステム。あらかじめ患者さん本人が自宅で最期を全うすることを希望時に発行する。

・在宅医療後方支援・病診連携システム「イエローカードシステム」

急変時、病院搬送を希望する在宅患者さんを対象に総合病院の協力と診療所間での連携によって容態が急変した際、総合病院で受診希望の患者さんに発行されるカード。平常時、かかりつけ医によって在宅医療を受ける患者さんの医療情報を搬送先の病院へ伝達する仕組みとなっている。

・シルバーカードシステム

容態急変時、かかりつけ医による往診を希望される患者さんに発行されるカード。カード情報はかかりつけ医をとおり総合病院と医師会へ伝達される。患者さんの医療情報は医師会を経由し在宅当番医と当番訪問看護ステーション間でも容態急変に備えそれぞれの間で共有されている。

※参考

静岡市人口 (26.4.1 現) 716,834 人

静岡市静岡医師会会員 約 640 人

つくば市人口 (26.6.1 現) 220,315 人

つくば市医師会会員 239 人

5 参加者：

つくば市医師会 小松崎八寿子, 志真泰夫

つくば市 津野義章, 平林美佐子, 森田明美

つくばみらい市 海老原貞夫

訪問看護 福田玉枝

ケアマネ連絡会 波多野健一

筑波メディカルセンター病院救命救急センター 河野元嗣

つくば市消防本部総務課長 田中寿幸

つくば市医師会事務局 酒井茂 計 11 名